

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 17日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒299-0266

住所 千葉県袖ヶ浦市北袖3-1

氏名 株式会社ADEKA千葉工場

工場長 吉永 雄一郎

電話番号 0438-62-4390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ADEKA千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖 3-1
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

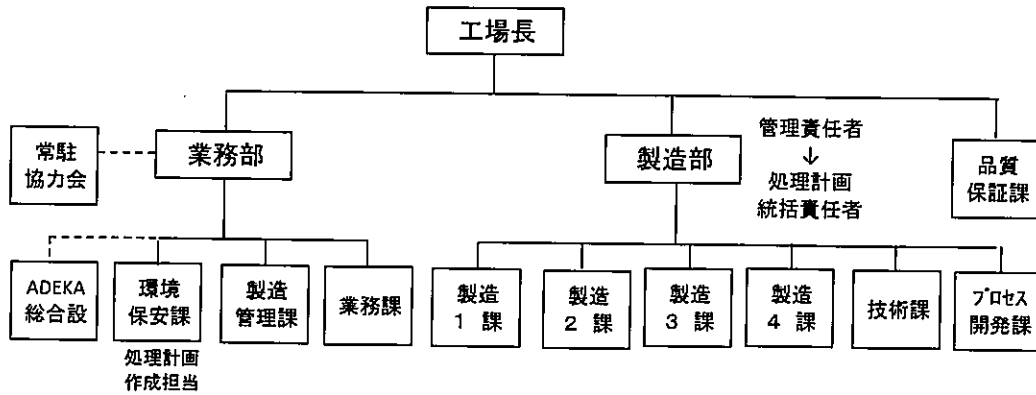
① 事業の種類	(大分類 製造業 中分類 化学工業)		
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 31,008 (百万円)		
③ 従業員数	206名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製造工程B 製造工程C 製造工程E 製造工程S 製造工程P 製造工程G その他工程	廃油 汚泥 廃プラ 鉄クズ ガラス陶磁器クズ 廃酸 木クズ 水銀産業廃棄物	自社中間処理(廃油焼却) 自社中間処理(廃油焼却) 委託中間処理 委託中間処理 委託中間処理 委託中間処理 委託中間処理 委託中間処理

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排出量	17362.9 t	1153.9 t
	(これまでに実施した取組) 廃油：焼却廃水の活性汚泥処理化。 汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。(外部委託量減量)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排出量	17189.3 t	1142.4 t
	(今後実施する予定の取組) 排出数量目標値として、原単位で昨年比1%削減を設定する。(上記目標値は、昨年と同じ生産量とした場合の数値。) 個別目標として、下記を設定する。 廃油：焼却廃水(分類上は廃油に該当)の活性炭処理新技術の検討。 汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。(外部委託量減量)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油：焼却廃水(分類上は廃油に該当)の活性汚泥処理に伴い排水分別方法を変更する。 汚泥：ピット汚泥は構内で静置分離し、上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油：社内処理、外部処理の分別を検討。 汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、濃縮した下層の汚泥を外部処理委託する。

を外部処理する。  
(外部委託量減量)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	327.2 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 廃油：自社焼却炉への燃料化。 汚泥：特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	323.9 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 廃油：自社焼却炉への燃料化の維持。 汚泥：特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	13447.8 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13447.8 t	590.1 t
（これまでに実施した取組） 廃油：自社焼却炉で発生した熱は、廃水濃縮の際に利用している。 ここでの、熱回収を行った廃棄物量とは、焼却炉の中間処理量と同数値としている。 汚泥：活性汚泥の余剰汚泥を脱水・乾燥する装置の適正な維持管理を進め、高効率の減量化を進めている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	13313.3 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13313.3 t	584.2 t
（今後実施する予定の取組） 現状、自社焼却炉での熱回収と減量処理は十分に行っており、本年度も継続して活動していく。目標値は、昨年処理実績を設定する。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	3587.9 t	563.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	129.4 t	36.9 t
	再生利用業者への処理委託量	111.2 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	3516.3 t	247.8 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	53.4 t	279.1 t
(これまでに実施した取組) ゼロエミッションの目標活動により、中間処理後の処理残渣を有効利用する、産業廃棄物処理業者へ処理を委託する。			

		【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	
②計画	全処理委託量	3552	t	558.2	t
	優良認定処理業者への処理委託量	128.1	t	36.5	t
	再生利用業者への処理委託量	110.1	t	0	t
	認定熱回収業者への処理委託量	3481.1	t	245.3	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	52.9	t	276.3	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現在処理委託している、産業廃棄物処理業者の各種認定申請状況を調査し 優良業者への移行を進めていく。移行状況が把握できるまでは、処理委託 量・多数量の目標数値は、昨年実績（若しくは1%減）を設定する。</p>				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	排出量	0 t	0.3 t	205.9 t	44.2 t	31 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	排出量	0 t	0.3 t	203.8 t	43.8 t	30 kg	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	全処理委託量	0 t	0.3 t	205.9 t	44.2 t	31 kg	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	12.6 t	0 kg	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.3 t	8.3 t	44.2 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	119.2 t	0 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	78.4 t	0 t	0 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	全処理委託量	0 t	0.3 t	203.8 t	43.8 t	30 kg	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	12.5 t	0 kg	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.3 t	8.2 t	43.8 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	118 t	0 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	77.6 t	0 t	0 kg	t	t	t